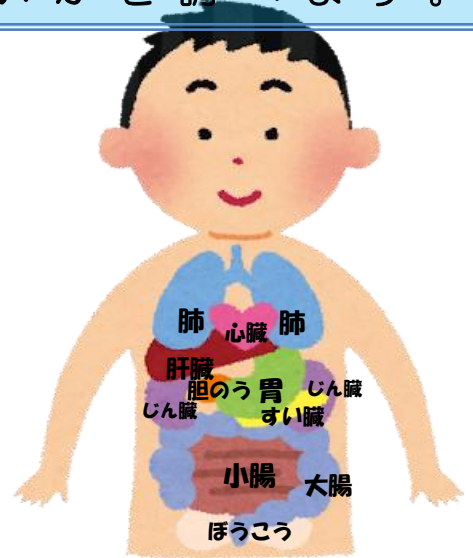


# 腹部超音波検査

腹部臓器を観察し、異常がないかを調べます。

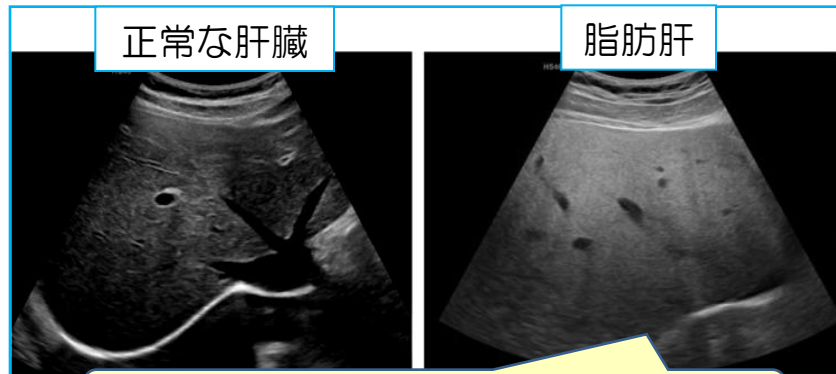
## 腹部超音波検査とは

- 腹部に超音波をあてて、臓器に異常がないか調べます。
- 超音波とは、人が聴くことのできない周波数の音波でその音を臓器にあてて、反射をリアルタイムで画像に表しています。
- 主に肝臓・腎臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腸管を見ています。
- 妊婦さんにも安心して受けていただける検査です。



## 何が分かるの？

- 脂肪肝、慢性肝炎などのびまん性疾患
- 胆石、ポリープ、のう胞、腫瘍などの限局性病変
- 各臓器の形態  
などが分かります。



脂肪の蓄積により、肝臓が白く見えます。

## 検査の流れ

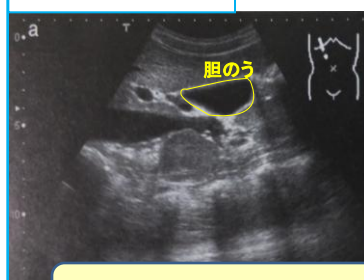
- ①ベッドに横になりリラックスします。
- ②ゼリーをつけて、プローベを当てて見ていきます。
- ③途中、体の向きを変えたり、呼吸を促す場合もあります。
- ④検査時間はおよそ30～40分と、内容により差がありますのでご了承ください。  
(所見内容により、追加の観察などが必要になるため時間を要する場合があります)



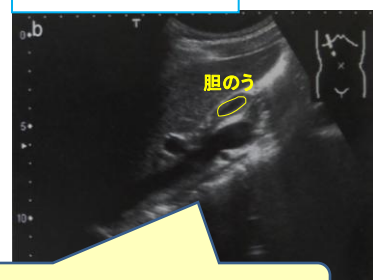
## 検査を受けるにあたっての留意点

- 検査担当者が腹式呼吸や、深呼吸など呼吸調整を指示することがあります。
- 基本的に、腹部内に空気が多く存在すると臓器が見えづらくなります。食事の後では消化管内に空気が発生しやすく、また胆汁が出て胆のうが小さくなるため少なくとも検査前5時間は絶食が望ましいです。

### 胆のう食前



### 胆のう食後



胆汁を貯めている胆のうが小さくなります。